

ご挨拶

令和元年 11 月 12 日

晩秋の候 皆様におかれましては、ますますご清祥のことと心よりお慶び申し上げます。
皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本年度の営業は11月12日をもちまして終了させていただきました。
今年も多くの皆様に、まつたけ村をご愛顧いただき、心より感謝申し上げます。

今シーズンは、9月の気温高と必要量の雨が降らなかったことで、松茸の発生時期が例年に比べ遅れ、10月に入ってからの入荷となりました。ご注文・ご来店いただきました皆様にはご心配、ご迷惑をおかけいたしました。また、昨年に比べて入荷量は少なめで、ご用命にお応えできないこともありましたこと、お詫び申し上げます。

しかし予想外にも松茸の入荷時期が伸びたことで、11月初旬まで営業することができ、遠方からたくさんの方々にご来店・ご注文いただきましたことに心から感謝しております。

さらに今年は特に複数の方々からうれしい報告と感謝のお言葉をいただきました。

「病に伏せている親に最後に松茸を食べさせたい。」「父や母の嬉しそうな顔を見ることができ、本当にお世話になりました。」など。これは1件や2件ではなく、本当に日々たくさんのお話聞いて、松茸を通して心のふれあいに感動した年となりました。

時は令和に移り変わり、食の文化も多様な時代の中で、やはり秋の味覚といえば松茸。炊き込みご飯や土瓶蒸しをはじめ、堪能するならやっぱり焼き松茸が一番、至福の時を味わえますね。

これからも、自然の贈り物「松茸」が思い出深き味になりますよう、来年度も数十年來のご最良のお客様をはじめとし、毎年増えていく新規のお客様へのご要望にもお応えすべく、社員一同全力で取り組む所存でございます。

今後とも、ご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

追伸 各飲食店・取扱い関係者の皆様には、大変お世話になりました。

今後とも、皆様のご支援ご鞭撻を賜りたく謹んでお願い申し上げます。

株式会社まつたけ村

代表取締役 金光 浩二